

## アーツカウンシル東京 平成 29 年度事業ラインアップ発表

アーツカウンシル東京では、助成プログラムを拡充するとともに、文化施設のみならず個性あふれる市街地や公園、ランドマークなど、地域の文化資源を活用し、誰もが参加して楽しむことのできる「東京文化プログラム」を 2020 年に向けて展開します。また、アートの視点から社会の課題に向き合う現場や、社会とアートのつなぎ手となる人材の育成など、多角的に事業を展開していきます。

### ■文化プログラムの展開に向けて、助成プログラムの拡充と企画の公募を開始

文化プログラムをより多くの人々に周知するとともに、2020 年に向けた気運の醸成を図ることを目指す第一歩として、平成 28 年度に、民間団体や企業等が企画する大型プロジェクトを対象とする「東京文化プログラム助成 気運醸成プロジェクト支援」を実施しました。平成 29 年度は、2 年目となる「気運醸成プロジェクト支援」に加え、「市民創造文化活動支援」、「未来提案型プロジェクト支援(仮称)」、「海外発文化プロジェクト支援(仮称)」を創設し、誰もが文化プログラムに参加できること、また、2020 年以降の東京の芸術創造環境の向上を目指した助成事業を実施します。

また、2020 年に予定される「東京 2020 フェスティバル(仮称)」の中核となる事業に位置付けていくことを視野に入れた文化プログラムの企画を一般公募し、革新的かつ独創的な発想を取り入れていきます。

### ■「東京キャラバン」は国内各地へ展開、「TURN」はフェスと拠点の 2 面展開に

リオデジャネイロ 2016 オリンピック・パラリンピック競技大会時に現地において注目を集めた「東京キャラバン」は、今年度は国内各地に出現し、地域を越えた交流を継続的に図っていきます。また、異なる背景や習慣を持った人々が関わり合い、「個」の出会いを生み出すアートプロジェクト「TURN」は、8 月に「TURN フェス 3」を開催し、さらに、通年活動の拠点として「TURN LAND(仮称)」を展開していきます。

### ■外国人に向けて伝統文化・芸能の魅力を発信する事業の多角的な展開

東京の独自性や多様性を追求しながら、日本の伝統文化の魅力を国内外に発信するため、浅草、両国に加え、今年度は新たに羽田空港でも、外国人旅行者等が日本の本格的な伝統文化・芸能について、短時間で気軽に体験できるプログラムを実施します。また、日本の伝統文化・芸能をより深く理解できるよう体験と鑑賞を組み合わせたプログラムも実施します。

※「東京文化プログラム」……東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団及び公益財団法人東京都交響楽団が、2020 年に向け、2016 年秋から 4 年間展開していく事業。

※「東京 2020 フェスティバル(仮称)」……東京 2020 文化オリンピックの集大成として、大会組織委員会が東京 2020 大会の直前からの実施を検討しているフェスティバル。

事業の詳細は、別添の事業一覧をご覧ください。

#### ●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、2020 年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。

<http://www.artscouncil-tokyo.jp>

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：森(隆)、圓城寺  
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

1

2020 年に向けた文化プログラムの展開

2020 年に向けて、助成事業を拡充するとともに企画の公募や、東京キャラバン、TURN といった文化プログラムを牽引する事業を展開することで、より多くの都民が文化プログラムに参加できる機会づくりを進め、「東京文化プログラム」を展開していきます。

○東京文化プログラム助成

東京都が主導する文化プログラムの考え方を踏まえ、2020 年に向け、より多くの人々が文化プログラムに参加できること、また 2020 年以降の東京の芸術創造環境の向上を目的とした助成事業を実施します。

事業名	概要
気運醸成プロジェクト支援	民間企業など様々なセクターによる話題性・祝祭性のある芸術文化事業を支援し、文化プログラムを人々へ周知し、2020 年に向けた気運の醸成を図っていきます。
市民創造文化活動支援(2 期制) 【新規事業】	都民の日常的かつ主体的な芸術文化活動を支援します。
未来提案型プロジェクト支援(仮称) 【新規事業】	アートとテクノロジーの融合により、新しい表現の創造や技術の開発にチャレンジするプロジェクトを支援します。
海外発文化プロジェクト支援(仮称) 【新規事業】	海外からのアーティスト等の東京での新作発表を支援し、東京が国際的な創造活動拠点として魅力ある都市となるとともに、都民が新しい表現に触れる機会を提供します。

○東京文化プログラム公募事業 【新規事業】

「東京 2020 フェスティバル(仮称)」での中核となる事業に位置付けていくことを視野に入れて、2019 年秋頃から 2020 年 9 月(東京 2020 パラリンピック閉会式)までの間に実施する、革新的かつ独創的な事業の企画アイデアを公募します。詳細は来年度初めに発表予定です。

○東京キャラバン

劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた新たな文化ムーブメントです。2016 年夏、オリンピック開催中のリオデジャネイロでの開催を引き継ぎ、国内各地に出現し、「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、地域を越えた交流を継続的に図っていきます。

平成 29 年度実施場所(予定): 東京都内、京都府内、熊本県内

※平成 30 年度以降、以下の自治体においても実施することを検討中。

北海道、秋田県、いわき市、川越市、富山県、豊田市、広島県、愛媛県

○TURN

監修に日比野克彦を迎え、異なる背景や習慣を持った人々が関わり合い、様々な「個」の出会いを生み出すアートプロジェクトです。「TURN」の根幹を成す「交流プログラム」、各地の「交流プログラム」が一堂に会す「TURN フェス」、そして通年活動の拠点としての「TURN LAND(仮称)」を様々な場所で展開し、一人ひとり異なる全ての人に届く新たな文化的体験をつくり出すことを目指しています。

実施場所: 東京都美術館、東京都内各所

東京の芸術文化の魅力を向上させ世界に発信していく創造活動を支援するため、発信力のある活動を行う団体等に対する助成を実施します。

事業名	概要
東京芸術文化創造発信助成 (単年助成(2期制)、長期助成)	<p>【単年助成プログラム】東京都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、国際的な芸術交流活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動を助成します。</p> <p>【長期助成プログラム】発表活動だけでなく、作品制作のプロセスも含めて支援することで創造活動を促進すると共に、芸術団体のステップアップの後押しを目的に最長3年間の支援を行います。また、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対しても助成します。</p>
東京地域芸術文化助成	<p>東京を拠点とするNPOや実行委員会、芸術団体、保存会、継承団体等が実施する、東京都内の無形民俗文化財を活用した地域の文化の振興に資する公演活動等や、特定の地域における文化資源を活用した事業に対して活動経費の一部を助成します。</p>
芸術文化による社会支援助成 (2期制)	<p>障害者や高齢者、子供、青少年、在住外国人等が主体的に関わる芸術活動や、社会や都市の様々な課題を見据え、その改善に資することを目的とした先駆的な芸術活動を助成します。</p>

芸術文化団体やアート NPO 等と協力して実施する事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇等の幅広い分野におけるフェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。また、文化の面でのレガシーを 2020 年以降に継承し、文化の魅力であふれる都市東京の実現をめざします。

### ○フェスティバルや参加・体験プログラムの開催

伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇、舞踊等幅広い分野におけるフェスティバルの開催や子供・青少年、外国人向けの参加・体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充・発信し、継承しています。

#### 【フェスティバル】

事業名	実施場所	開催時期(予定)
伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル 2017～	八王子エリア	9月9日(土)・10日(日)
八王子市をはじめ、多摩地域の文化資源を活用して伝統文化・芸能の魅力を発信し、馴染みのない人々も気軽に親しめるフェスティバルを開催します。邦楽の街なか演奏会や野外ステージでの公演など、多彩なプログラムを実施します。		
東京大茶会 2017	江戸東京たてももの園	10月7日(土)・8日(日)
	浜離宮恩賜庭園	10月21日(土)・22日(日)
伝統文化・芸能	都内の庭園と野外博物館において、様々な茶道の流派が一堂に会する大規模な茶会を催し、お茶の文化とそれを育んできた江戸・東京の文化を国内外へ紹介します。本格的な茶席をはじめ、秋空の下で楽しむ野点や初心者向けの茶道教室など、茶道に馴染みのない方や海外の方などが「お茶の文化」に親しみ、気軽に楽しめる茶会です。	
日本橋伝統文化フェスティバル	日本橋エリア	11月3日(金・祝)～5日(日)
江戸の文化の発信地であり、五街道の起点として栄えた日本橋で、日本の伝統文化の魅力を新たな技術やアートを活用して表現するフェスティバルを開催します。パフォーマンスや、ワークショップなど多彩なプログラムを実施します。		
神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2017	神楽坂エリア	11月11日(土)・12日(日)
伝統と現代が融合する神楽坂エリアの毘沙門天善國寺や神楽坂通り、石畳の路地などを舞台に、数々の粋でスタイリッシュな伝統芸能ライブを開催します。また、芸者衆とのお座敷遊び体験、スタンプラリーなど、外国の方や若い世代の方も、誰もが気軽に楽しく日本の伝統文化・芸能、そして“まち”と出逢える2日間です。		

事業名	実施場所	開催時期(予定)
大江戸寄席と花街のおどり その七	国立劇場	9月18日(月・祝)
江戸の町人文化の隆盛の中で花開いた落語と、花柳界に伝わる芸者衆のおどりと演奏を楽しめる伝統芸能のエンターテインメント公演を実施します。		
第18回多摩川流域郷土芸能フェスティバル	狛江エコルマホール	12月3日(日)
伝統文化・芸能	多摩川流域の地域文化の交流を通して、郷土芸能の活性化・地域文化の振興を図るため、多摩川流域で育まれた郷土芸能を9団体が披露する公演を実施します。	
	伝統芸能公演(連携事業)	東京国際フォーラム 平成30年1月2日(火)・3日(水)
	伝統から現代まで多彩な日本文化の魅力を発信する事業である「J-CULTURE FEST」と連携して、気軽に楽しめる伝統芸能公演を実施します。	
	伝統芸能普及公演	都内文化施設 7月～平成30年2月のうち1日間
	日本の伝統文化・芸能の魅力を広く発信し、若者や外国人など伝統文化・芸能に馴染みのない層に対して、本格的な伝統芸能をわかりやすく見せる公演を実施します。	
音楽	プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～	多摩地域・島しょ地域の各所 通年
	「首都東京の音楽大使」である東京都交響楽団が、多摩地域・島しょ地域の各所で、子供から大人まで幅広い方々がクラシック音楽を身近に親しむ、参加・体験型のオーケストラ公演、アンサンブル公演を実施します。東京2020オリンピック・パラリンピックを文化五輪としても盛り上げる機会とし、気運醸成を目指します。	
	Music Program TOKYO	東京文化会館 ほか 通年
	世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、特に次代を担う子供たちに向けた《Music Education Program》を開催します。	
	アンサンブルズ東京	東京タワー周辺 10月15日(日)
音楽家・大友良英のディレクションのもと、「プロジェクト FUKUSHIMA!」と共に、参加したすべての人たちが、それぞれの立場やあり方を超えて、自分たちの手で音楽の場を作り上げる音楽祭を、東京を象徴する場の一つである東京タワー周辺で開催します。		

事業名	実施場所	開催時期(予定)	
美術・映像・アートプロジェクト	上野「文化の杜」	上野エリア	通年
	日本有数の芸術文化機関の連携、芸術文化資産の発信などを通し、東京の芸術文化拠点としての上野の魅力を国内外へ発信します。アーツカウンシル東京と上野「文化の杜」新構想実行委員会が共催し、情報発信環境の整備、集積している各文化施設の連携イベント等のプログラムを積極的に実施していきます。		
	六本木アートナイト 2017	六本木エリア	9月30日(土)・10月1日(日)
	生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案するとともに、大都市東京におけるまちづくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、一夜限りのアートの饗宴。六本木の街を舞台に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなど多様なプログラムを展開します。		
	MOT サテライト 2017 秋	清澄白河エリア ほか	9月～11月のうち30日間
東京都現代美術館が改修のための休館中に、清澄白河地域周辺のギャラリーやカフェなどの協力を得て開催するアートプロジェクトです。美術だけでなく、音楽、パフォーマンス、シンポジウムなど多彩なプログラムを提供します。第2回目となる今回は、様々な視点からのプロジェクトを地域と連携して展開します。			
第10回恵比寿映像祭	東京都写真美術館、恵比寿エリア ほか	平成30年2月9日(金)～25日(日)	
映像分野における創造活動の活性化と、優れた映像表現を過去から現在、そして未来へと継承し、事業を通じて様々なジャンルとの対話を促す「恵比寿映像祭」の第10回目として、展示、上映、トーク・セッションなどを行います。また、国内外の美術館、関係機関、近隣との連携を深めながら、映像表現、視覚芸術の多様性を発信します。			
演劇・舞踊	芸劇セレクション	東京芸術劇場	通年
	若手の演出家を起用した公演や様々な舞台芸術作品を上演するほか、ワークショップ等、多様なプログラムを展開します。今年度は、実力・人気ともに世界レベルのベルギーのダンスカンパニー・ローザスの原点となる伝説的な作品「ファーズーFase」と日本初演となるローザス&イクトウス「時の渦-Vortex Temporum」や、劇作家・演出家として幅広い活動を展開する福原充則が唐十郎の戯曲を取り上げ、演出する「RooTS Vol.5『秘密の花園』」などを上演します。		
	東京芸術祭 2017	池袋エリア	秋
	国内外の先鋭的な舞台作品や親しみやすい演劇作品などを上演、また地域での取り組みなども実施する国際舞台芸術祭を展開します。(参加事業:フェスティバル/トーキョー、芸劇オータムセレクション、としま国際アートカルチャー都市発信プログラム、アジア舞台芸術人材育成部門)		
Shibuya StreetDance Week 2017	渋谷エリア	12月3日(日)	
ストリートダンサーの聖地と言われる渋谷から、ストリートダンスの魅力や本質的な価値を様々な形で発信し、子供から大人まで幅広い層の方々が参加できるストリートダンスの祭典を開催します。			

## 【子供向け参加・体験型プログラム】

事業名	実施場所	開催時期(予定)
キッズ伝統芸能体験	梅若能楽学院会館、 日本橋公会堂 ほか	通年
日本人が大切にしてきた伝統芸能を知り、その心を継承するため、能楽、日本舞踊、三曲、長唄の一流の実演家から、子供たちが数か月にわたり直接指導を受け、最後にその成果を舞台で発表します。中・高校生のみを対象としたクラスや夏休み中に短期間で稽古から発表会まで行う地域密着型のプログラムも展開します。		
子供のための伝統文化・芸能体験事業	都内学校	通年
子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値について学ぶとともに、多様な文化に対する幅広い理解を育めるよう、若手実演家等を講師とする体験・鑑賞プログラムを、学校教育と連携した取り組みとして実施します。		
パフォーマンスキッズ・トーキョー	都内文化施設、都内 公立小中学校 ほか	通年
ダンスや演劇、音楽などのプロのアーティストを、学校やホール等に10日間程度派遣し、ワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品を作り上げ、最終日に発表公演を行います。アーティストが子供の発想を活かしつつ作品を創作する過程で、子供たちの創造性や自主性を育み、コミュニケーション能力を高めます。		
Museum Start あいうえの	東京都美術館、上野 公園の文化施設	通年
ミュージアム、大学、行政、市民が手を携えて、新しい学びの機会の創出を目指す、21世紀型の教育事業です。上野公園に集まる9つの文化教育施設が連携し、子供たちの「ミュージアム・デビュー」を応援するとともに、子供と大人が学びあえるアクティブ・ラーニングの環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」を、東京都美術館と東京藝術大学が推進役となって実施します。		
TACT/FESTIVAL(国際青少年演劇フェスティバル)	東京芸術劇場	5月4日(木・祝)～7日(日)
子供も大人も楽しめるフェスティバルで、海外の上質なファミリー向け作品を国内に紹介します。今年度は、フィンランドからソロパフォーマンス作品「ピアニスト」、インドネシアからバリ伝統の仮面舞踏と影絵芝居を組み合わせた新作「月と太陽」他を招き、上演します。		

## 【外国人向け参加・体験型プログラム】

事業名	実施場所	開催時期(予定)
外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム	東京都江戸東京博物館、浅草文化観光センター、羽田空港国際線ターミナル ほか	通年
東京が誇る日本の伝統文化を国内外に発信するため、外国人が伝統文化を理解できるよう、観光拠点等において短時間で体験できるプログラムを実施します。		
外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム	都内文化施設	7月～平成30年2月(2公演)
外国人旅行者等が、日本の伝統文化・芸能をより深く理解できるよう、伝統文化・芸能の体験と鑑賞を組み合わせたプログラムを実施します。		

## ○文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取り組みです。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクトを実施し、その担い手となるNPO育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力の創造・発信を目指します。（通年実施）

事業名	実施場所	共催団体
TERATOTERA	JR 高円寺駅-国分寺駅 エリア	一般社団法人 Ongoing
古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住みたいまちとしても不動の人気を誇る JR 中央線高円寺駅～吉祥寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野・多摩地域に点在しているアートのスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信するプログラムを展開します。また、テラッコ(ボランティア)の人材育成にも注力し、プログラムの企画・運営の実践を通じ、アーティストとともにアートプロジェクトをプロデュースできる人材を育てます。		
小金井アートフル・アクション！	小金井市	特定非営利活動法人アートフル・アクション／小金井市
小金井市をフィールドに、市民がアートと出合うことで、心豊かな生き方を追求するきっかけをつくることを目的としています。芸術文化によるまちづくりの検討や市民が事業に関わる場づくりを実施します。		
アートアクセスあだち 音まち千住の縁	足立区	東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科／特定非営利活動法人音まち計画／足立区
足立区千住地域を舞台に、アートを通じた新たなコミュニケーション(縁)のつながりを生み出すことをめざす、市民参加型のアートプロジェクトです。市民とアーティストが協働して、「音」をテーマとしたまちなかで多様なプログラムを展開します。		

事業名	実施場所	共催団体
汐入タワープログラム	都立汐入公園	一般社団法人 CIAN／荒川区
平成 22 年度から平成 25 年度にかけて展開した「川俣正・東京インプログレス—隅田川からの眺め」の一環として、都立汐入公園(荒川区)内に制作された「汐入タワー」において実施するプロジェクトです。地域の要望により設置を継続することとなったこの「汐入タワー」を中心に、アーティストが地域の人を交えたプログラムを実施します。		
トッピングイースト	東東京エリア	特定非営利活動法人トッピングイースト
スカイツリーや下町観光開発が日々進化し続ける東東京エリアにおいて、パブリックな場所での音楽の展開可能性・適正規模を追求するプログラムや、音楽プログラムへの多様な参加の手法を探り、実践するプログラムを展開します。		
リライトプロジェクト	六本木 ほか	特定非営利活動法人インビジブル
六本木けやき坂のパブリックアート『Counter Void(カウンター・ヴォイド)』を再点灯させると同時に、未来の生き方や人間のあり方を考えるプラットフォーム形成を目指すプロジェクト。東日本大震災をきっかけに、作者であるアーティスト・宮島達男の手によって消灯されたこの作品を、3.11 の記憶をとどめ、社会に問いかけ続けるための装置と位置づけ、様々なプログラムを展開します。		
東京スープとブランケット紀行	江古田 ほか	一般社団法人指輪ホテル
演出家・劇作家の羊屋白玉を中心に、生活圏に起こるものごとの「終焉」と「起源」、そして、それらの間を追求するアートプロジェクトをテーマに呼応するコラボレーターとともに展開します。		
Between's Passport Initiative	新宿区ほか都内各所	一般社団法人 kuriya
『移民』の若者たちを異なる文化をつなぐ社会的資源と捉え、アートプロジェクトを通じた若者たちのエンパワメントを目的とするプロジェクト。人材育成事業として、『移民』の若者たちがプロジェクトの運営補佐を行います。 ※本事業では、多様な国籍・文化を内包し生活する外国人を『移民』と呼んでいます。		
東京ステイ	都内各所	特定非営利活動法人場所と物語
「東京らしさ」を持つ場の多様性と個性を見出し発信することで、東京の文化的価値を見つめ直すことに取り組むプロジェクト。価値発掘の手法として「ステイ」(旅人と住人の中間の視点を持つ滞在体験)を用い、そのアプローチの有効性を探っていきます。		
新規公募事業	—	—
以上の事業に加え、公募によって新たな NPO を選出し、多様なアートプロジェクトを展開していきます。		

## 東京の文化力による震災からの復興

東京都による芸術文化を活用した東日本大震災、被災地支援のための事業です。被災地域のコミュニティに対して、現地のアート NPO 等の団体やコーディネーターと連携しながら、アートプログラムを実施し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。(通年実施)

事業名	実施場所	共催団体(予定)
東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業(Art Support Tohoku-Tokyo)	岩手県	特定非営利活動法人いわて連携復興センター
	宮城県	つながる湾プロジェクト運営委員会 えずこ芸術のまち創造実行委員会
	福島県	福島県 かかわりのたねアートプロジェクト実行委員会 いわき市 特定非営利活動法人 Wunder ground
<p>東日本大震災の被災地域のコミュニティに対して、現地の団体と協働してアートプログラムを実施しています。「東京緊急対策 2011」の一環として開始した、東京都との共催事業です。現地のアート NPO 等の団体やコーディネーターと連携し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。被災地域のコミュニティを再建するため、様々な分野の人々との交流プロセスを重視したアートプログラムや、その実施を支える仕組みづくりを行います。</p>		

## 社会と芸術をつなぎ、未来をリードする人材の育成

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成していきます。

事業名	実施場所	開催時期(予定)
タレント・トーキョー2017	有楽町朝日ホールスクエア	11月
<p>映画分野における人材育成事業として、「ベルリン国際映画祭」と提携して実施します。映画監督やプロデューサーを目指すアジアからの参加者に、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供します。</p>		
アーツアカデミー	アーツカウンシル東京、東京芸術劇場	通年
<p>東京の芸術文化事業を担う人材を育成するプログラムとして、現場調査やテーマに基づいた演習などを中心としたコース、劇場運営の現場を担うプロデューサー育成を目的とするコース等を実施します。</p>		
Tokyo Art Research Lab (TARL)	アーツカウンシル東京 ROOM302 ほか	通年
<p>アートプロジェクトを実践する人々にひらかれ、共につくりあげる学びのプログラムです。新しい芸術文化の担い手を育て、彼らが必要とする手法やスキルを開発していくことを目的としています。アートプロジェクトを動かす人材を育成していく「思考と技術と対話の学校」と、環境整備と方法論の確立を担う「研究・開発」の二軸で事業を展開します。</p>		

海外の芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていきます。

事業名	実施場所	開催時期(予定)
アーツカウンシル・フォーラム	未定	未定
<p>芸術文化分野において今日的かつ重要なテーマを取り上げるフォーラムの開催。国内外のアーツカウンシル、芸術文化交流施設・機関、アーティストやクリエイター間のディスカッションを通じて、国際都市に相応しい芸術文化活動の発信や議論の場となることを目指します。</p>		